

環境報告書

EXEDY Corporation Environmental Report

2014



EXEDY
株式会社エクセディ

環境理念

エクセディは、自然と社会との共生を実現するために、企業理念＝『喜びの創造』を追求し、企業活動の全ての面において、地球にやさしい環境づくりに努めます。

環境方針

エクセディ環境理念に基づき、生産・製品・サービスの分野において、環境マネジメントシステムを実行し、環境問題の未然防止と継続的改善活動を積極的に推進します。

- 1) 環境に関する法令・条例・協定および同意したその他の要求事項を遵守します。
- 2) 産業廃棄物の削減と資源の有効利用を推進します。
- 3) 環境に配慮した製品開発とものづくりにおいて、地球温暖化防止と環境負荷物質の廃止・削減を推進します。
- 4) 地域の環境改善への参加・支援に積極的に取り組みます。
- 5) この環境方針は、すべての従業員に周知させるとともに、社外に開示します。

制定 2007年4月1日

代表取締役社長 

CONTENTS

環境理念・方針……………1
 会社概要……………2
 環境マネジメント……………3～4
 生産・製品における環境保全活動……………5～6
 生産・製品におけるCO₂削減への取組み実施例……………7～8
 社会との共生……………9～10

■対象期間

2013年度(2013年4月1日～2014年3月31日)を対象としていますが、この期間外であっても、必要と判断した事象も含めて報告しています。

■対象組織

国内事業所の本社・上野事業所・川越工場・広島工場を対象範囲としています。また、関係会社の活動状況についても一部紹介しています。

■編集方針

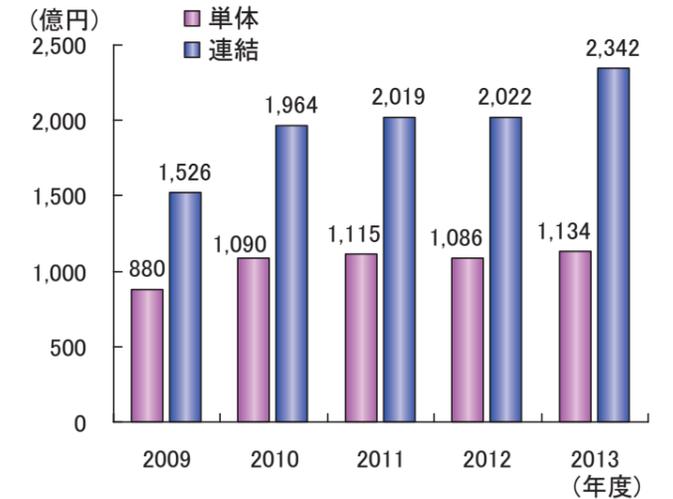
社会との共生では、社会貢献等の取り組み事例について紹介しています。本報告書の作成に当たっては、環境省の「環境報告書ガイドライン」を参考にしています。



表紙の写真は2014年4月にエクセディ物流屋上に設置された太陽光発電システムです。これまでに設置した太陽光発電システムの出力合計は約900kWとなります。当社は企業活動の全ての面において、今後も地球に優しい環境づくりに努めて参ります。

会社概要

商号 株式会社エクセディ
 英文社名 EXEDY Corporation
 設立 1950年(昭和25年)7月1日
 資本金 8,284百万円
 代表取締役社長 清水春生
 グループ社員数 約1万7千名
 売上高推移 (数値は2014年3月31日現在)



国内事業所 本社 (大阪府寝屋川市)
 上野事業所 (三重県伊賀市)
 川越工場 (埼玉県川越市)
 広島工場 (広島県東広島市)

連結対象会社

国内 北海道・岡山等 計11社
 海外 欧米・アジア等 計29社
 総数 40社(持分法適用会社含む)

主要製品

AT事業：自動変速装置部品



MT事業：手動変速装置部品



TS事業：建設・産業車両、農機・商用車用装置部品



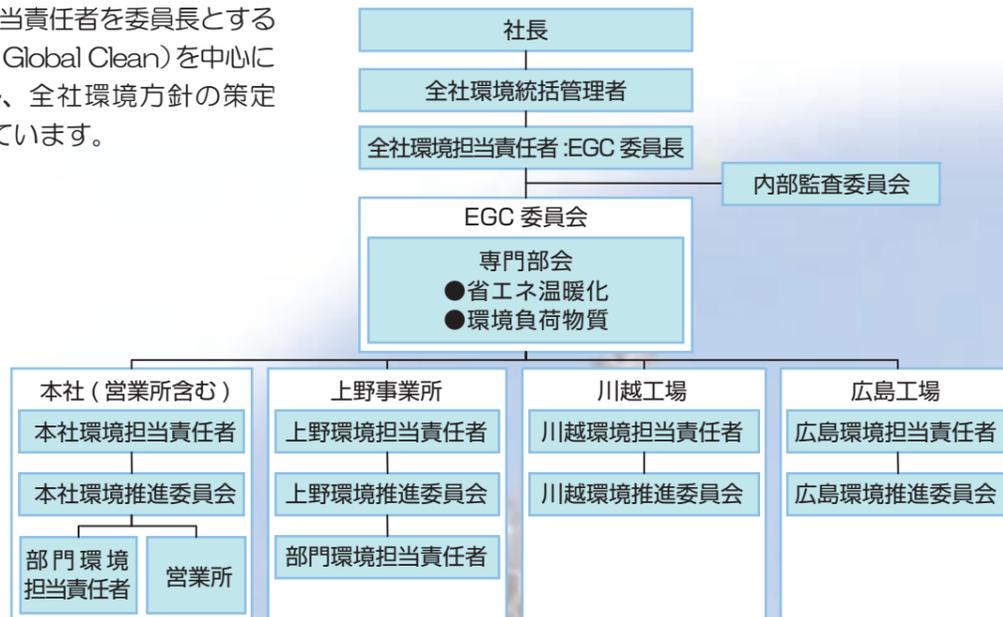
環境マネジメント

■ 環境マネジメント体制

エクセディでは、全社環境担当責任者を委員長とするEGC委員会(EGC: EXEDY Global Clean)を中心にマネジメント体制を構築し、全社環境方針の策定や活動状況の管理を実施しています。



JQA-EM0901



2013年度実績と2014年度目標

項目	2013年度		2014年度
	目標	実績	目標
省エネ活動 省エネ法による 原単位: 前年度比1%レス	※1 原単位: 40.0 トン-CO ₂ /億円	原単位: 前年度比1%減 40.4→40.0 トン-CO ₂ /億円	原単位: 39.6 トン-CO ₂ /億円
3Rの推進 産業廃棄物低減	原単位: 産廃排出量: 0.14 トン/億円	原単位: 前年度比67%減 0.15→0.05 トン/億円	廃棄物原単位: 2.95 トン/億円
	リサイクル率: 98%	リサイクル率: 98.5%	
環境負荷物質の削減・廃止及び管理	※3 PRTR法に基づく管理	※4 行政及び部工会へ報告	PRTR法に基づく管理
車両の燃費向上に貢献する製品開発	低燃費製品量産開始	量産開始・納入済み	低燃費製品揃え開発
環境負荷物質の削減 (有害物質の全廃)	補修部品の6価クロム鉛廃止推進の継続	6価クロム全廃完了	フタル酸可塑剤4物質切替推進

※1 原単位: CO₂ 排出量/売上高 ※2 3R: リデュース・リユース・リサイクル ※3 PRTR法: 化学物質の排出・移動量届出制度 ※4 部工会: 日本自動車部品工業会

■ 環境会計 ～環境活動への費用・投資～

環境に対する取り組みを効果的に推進していくために、環境保全コストとその活動により得られた環境保全効果と経済効果を表しています。

2013年度 環境保全コスト

(単位: 百万円)

コスト項目	投資	費用	主な取り組み内容
公害防止	39	34	漏洩防止, 浄化設備補修
地球環境保全	246	17	太陽光発電パネル・高効率空調更新
資源循環	1	90	廃棄物処理・リサイクル処理
管理活動	0	15	環境月間イベント, ISO 定期審査
研究活動	4	116	低燃費化製品・再資源化材料の開発, 軽量化
社会活動	10	14	事業所内緑化, 防災公園周辺整備
合計	300	286	
総計		586	

環境保全に伴う経済効果と物量効果

< 経済効果 >

(単位: 百万円)

効果項目	2011年度	2012年度	2013年度
CO ₂ 削減の低減	49	36	0
廃棄物処理費用の低減	14	0	3
有価物の売却	881	885	743
合計	944	921	746

< 物量効果 >

効果項目	2011年度	2012年度	2013年度
産業廃棄物排出量 ^{※5}	194トン	164トン	52トン
CO ₂ 排出量	43.2千トン-CO ₂	43.5千トン-CO ₂	45.4千トン-CO ₂

※5 産業廃棄物排出量は、リサイクル分除く

■ 環境監査 (ISO14001)

部門自主監査、定期内部監査、外部機関による審査の3段階による監査及び審査を実施しています。

ISO14001更新審査

2013年5月28日～30日の3日間にわたり、JQAによるISO14001定期審査が行われました。今回の審査では「地球温暖化防止」及び「資源循環・排出抑制」活動などが高く評価されました。今回指摘を受けた項目については、各部門へ水平展開し、さらなるシステムの改善を進めます。

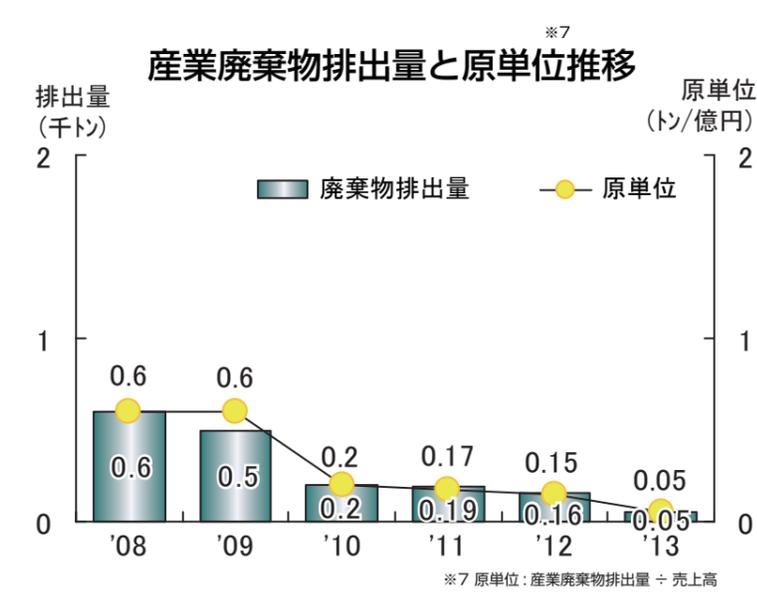
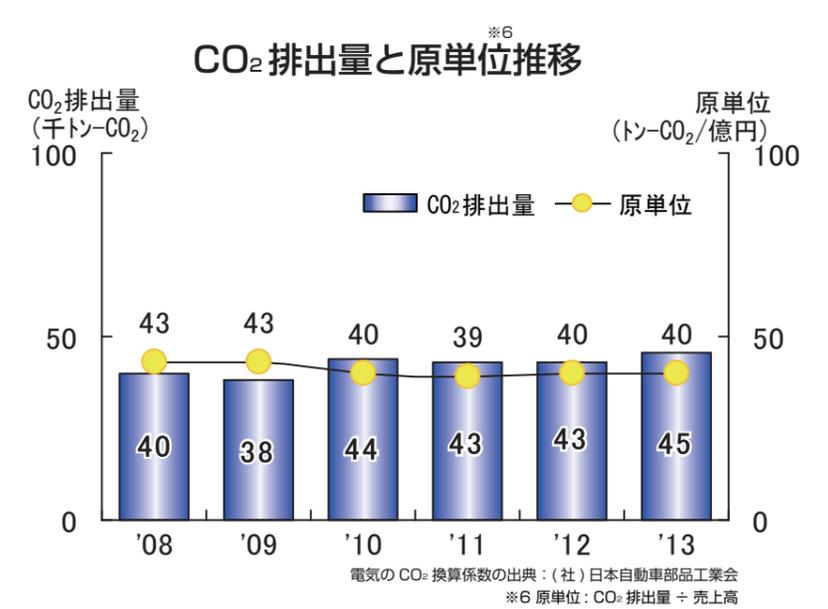
<< 審査及び監査結果 >>

年度	更新審査 (2013/4月)	重大な不適合	軽微な不適合	改善の機会
		2013	内部環境監査 (2014/3月)	0件

生産・製品における環境保全活動

～最少エネルギーと最少材料で～

エネルギー	購入材料	水資源
<p>電 力: 140,132 千 kWh</p> <p>灯 油: 208 kℓ</p> <p>ガソリン: 110 kℓ</p> <p>軽 油: 201 kℓ</p> <p>都市ガス: 90 千 m³</p> <p>L P G: 755 トン</p>	<p>鋼 材: 111,451 トン</p> <p>鑄 物: 11,348 トン</p> <p>鍛 造: 12,983 トン</p> <p>摩 擦 材: 8.23 百万枚</p>	<p>上 水: 150 千 m³</p> <p>工業用水: 154 千 m³</p>



生産・製品におけるCO₂削減への取組み 実施例(2013年度)

当社の本業であるものづくりの中で、素重、取りしろ削減、軽量化を進めるとともに、「省エネ7つの着眼点^{※8}」に基づき、省エネ・CO₂削減に向けた施策を進めています。

※8 省エネ7つの着眼点:「きめる」、「とめる(やめる)」、「なおす(もどす)」、「へらす(さげる)」、「わける」、「かえる」、「ひろう」

■きめる

🌿 ロー付炉休日保持管理徹底による非稼動時待機電力低減

保温設定温度の見直しや、ベルトのスピードダウンを行うことにより保持電力削減及び熱の持出し抑制をし、使用電力などを削減しました。

(CO₂削減量: 8.7トン/年) (AT 製造本部)

■とめる

🌿 加工機のアイドリングストップ化

NC旋盤補機(クーラントポンプ・油圧ユニット・切粉コンベア)を非加工時に停止させることにより使用電力を削減しました。

(CO₂削減量: 7.3トン/年) (AT 製造本部)



補機アイドリングストップを行うNC旋盤

■なおす

🌿 エア漏れ撲滅活動による電力削減

計画的にエア漏れ改修を実施することにより、使用電力を削減しました。

(CO₂削減量: 343.2トン/年) (M&T 製造本部、AT 製造本部)



使用エリア別に点灯エリアをわける

■わける

🌿 エリア別照明点灯による電力削減

使用頻度により照明点灯エリアを分け、スイッチの見える化をしました。これにより使用電力を削減しました。

(CO₂削減量: 2.8トン/年) (本社・上野事業所)

■へらす

🌿 人感センサーによる点灯時間削減

社内共用場所に人感センサーを設置することで、不使用時の照明消灯を可能にし、使用電力を削減しました。

(CO₂削減量: 3.0トン-CO₂/年)

(本社・上野事業所共用全域)



社内共用場所に設置された人感センサー

■かえる

🌿 コンプレッサードライヤー更新による電力削減

老朽化したコンプレッサードライヤーを省エネタイプに更新することにより、使用電力を削減しました。

(CO₂削減量: 10.1トン-CO₂/年) (M&T 製造本部)



容器倉庫屋上に設置された太陽光発電パネル

■ひろう

🌿 太陽光発電パネル設置

エクセディ物流の建屋屋上及び容器倉庫の屋根上に計300kWの太陽光発電パネルを設置しました。

(CO₂削減量: 73.2トン-CO₂/年) (本社)

社会との共生

～歩調をあわせて環境・社会貢献活動を～

～社会貢献情報～

深刻化する地球環境において、生産活動に伴う環境負荷も高まり、従業員一人ひとりが環境問題に対する認識を一層高める必要があります。また良き企業市民であるために、地域社会への継続的貢献は不可欠です。エクセディグループでは各社の状況に即した活動を展開しています。

※9 3流体削減活動 ※9 3流体：ATFオイル・切削油・防錆油などの油脂類

エクセディでは、全社活動として QC サークル活動に取り組んでいます。2013年6月より製造部門では統一テーマ「3流体削減活動」にチャレンジ。使用量削減だけでなく、作業環境改善へも大きな効果を挙げました。

取り組み件数：406件（2014年3月末時点）

効果金額：44百万円削減



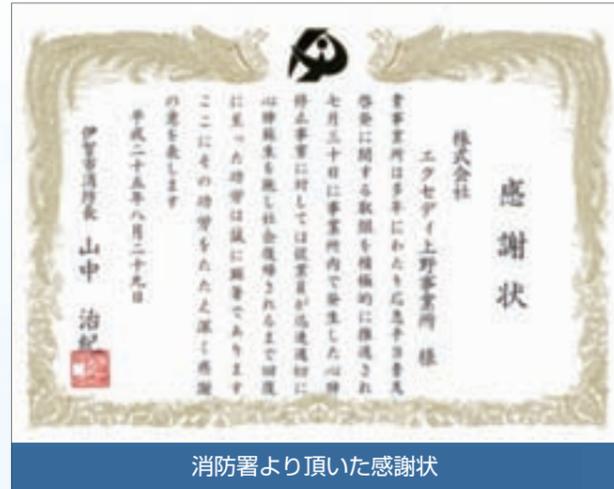
3流体について現地現物で知識習得

メガソーラー発電所開設

エクセディ電設（大阪府）が大阪府枚方市穂谷で1MWのメガソーラー発電所（エクセディ SB 大阪）を開設。発電所を所有することで、発電事業者としてのノウハウを現地現物で吸収していきます。



敷地いっぱいに設置されたメガソーラー



消防署より頂いた感謝状

救命活動で感謝状

エクセディ（三重県）では業務中に心肺停止状態になった従業員を、同僚が救命措置を行い一命を取りとめたことで、2013年8月に伊賀市消防本部より、当社上野事業所が感謝状をいただきました。今後も救命処置ができる従業員を一人でも増やすべく、普通救命講習受講の取り組みを続けます。

防災公園及び周辺整備完了

エクセディ防災公園（大阪府）は、本社隣接の当社土地を大阪府と寝屋川市に無償提供させていただき、周辺道路を含め、整備しました。同公園には太陽光パネル搭載のLED照明灯や災害時用トイレなどを完備し、避難場所としての役割を果たします。



太陽光パネル搭載のLED照明灯や災害時用トイレ



整備が完了した防災公園

経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選」に選定

ダイナックス（北海道）がグローバルニッチトップ企業100選に選定されました。グローバルニッチトップ企業とは、国際市場の開拓に取り組んでいる企業のうち、ニッチ分野において高いシェアを確保し、良好な経営を実践している企業を経済産業省が選定したもので、選定は今回が初めてです。



株式会社エクセディ

〒572-8570 大阪府寝屋川市木田元宮1丁目1番1号

お問い合わせ先：管理本部 安全衛生環境部 環境・健康管理チーム

編集責任者 大迫 修

作成者 松本 かよ 望月 伸二 牛野 美穂 中村 正憲 前本 野歩

TEL.072-824-1009 FAX.072-822-4145

発行：2014年4月

本誌はエクセディホームページ上でもご覧いただけます。

<http://www.exedy.com>



このカタログの印刷は環境にやさしい
植物性大豆インキを使用しています。



この印刷物に使用している用紙は、
森を元気にするための間伐と間伐材の
有効活用で役立ちます。

2014.4. 300 440 Printed in Japan